

にっぽん子ども・子育て応援団 2019 年度活動報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年3月31日)

1 10 周年記念事業と重点活動目標

・2009 年 5 月に活動をスタートさせて以来、2019 年 5 月で丸 10 年を迎える。これまでの活動を振り返り、さらに推進していくため、10 周年フォーラムをはじめ、10 周年記念事業を行う。

・未来をよくする子育て環境のアイデア募集
一般募集したアイデアから選りすぐりを 10 周年記念誌および 10 周年フォーラムで発表

・10 周年記念誌の発行と配布
にっぽん子ども・子育て応援団および関係各位の「決意表明」

・10 周年記念フォーラムの開催
わが国の子ども・子育てを、「もっと、みんなで なんとかしたい！」
平成から令和へ。元号だけでなく、にっぽんの子ども・子育て事情も大きく変えて行きたい。その方向性を指し示すべく、4 つの異なる視点の分科会で、参加者と語り合いながら探っていく。

・重点活動目標を力強く進めていくための改名。
にっぽん子ども・子育て応援団

「にっぽん子ども・子育て応援団の目標」
すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること

「目標実現のためのにっぽん子ども・子育て応援団のアピール」
1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしきみを

2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,067,774 (2020 年 3 月 31 日現在) (2019 年 3 月 31 日現在 1,065,021)

	2019 年 4 月 1 日現在数値	2020 年 3 月 31 日現在
個人サポーター宣言	5099 人	8776 人
企業・団体サポーター	42 社	48 社
NPO・市民団体サポーター	285 団体	264 団体
自治体首長サポーター登録	33 人	27 人

3 調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査

全国 4 カ所でのヒアリングを行い、全国 6 カ所で地域人材交流研修会を開催し、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表した。

参議院選挙にともなう子ども・子育て支援政党に関する政党アンケート

7月21日投票の参議院選挙に向けて、各政党に子ども・子育て支援政策に関するアンケートを実施、7政党のうち6政党から得られた回答を、につぼん子育て応援団公式サイトにアップ、公開した。

4 情報提供・交流活動

(1) 勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

10周年記念フォーラム、一時預かり事業に関する緊急フォーラムを開催した。
さらに企業・団体サポーター向け講座(企業・団体サポーター交流会)開催の予定。

・結成10周年記念フォーラム「もっと、みんなでなんとかしたい！につぼんの子ども・子育て」

2019年5月19日(日)13:20~16:40

津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス3階SA305講義室ほか。

参加者230名 保育10名

☆基調講演:今再び、子どもとおとなが輝く未来を考える。

村木厚子 津田塾大学総合経営学部客員教授 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

☆分科会:もっと、みんなでなんとかする！につぼんの子ども・子育て

・第一分科会 多様性の理解と尊重

座長・基調講演 勝間和代 経済評論家 につぼん子ども・子育て応援団団長

全体司会:高祖常子 につぼん子ども・子育て応援団運営委員

ワークまとめ:吉田恒雄 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

・第二分科会 働き方

パネリスト:小室淑恵 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

程 近智さん アクセンチュア株式会社相談役

井上久美枝さん 日本労働組合総連合会総合男女・雇用平等局長

座長・コーディネーター:安藤哲也 につぼん子ども・子育て応援団団長

・第三分科会 先進自治体の子育て支援政策

話題提供:清原慶子さん 前三鷹市長

片岡聡一さん 総社市長

成澤廣修さん 文京区長

本田敏秋さん 遠野市長

座長・コメンテーター:樋口恵子 につぼん子ども・子育て応援団団長

・第四分科会 2世代先の地域づくりミーティング

話題提供:石蔵文信さん 大阪大学大学院人間科学研究科招へい教授

森祐美子さん NPO 法人こまちぷらす代表

畠山由美さん 認定NPO 法人だいじょうぶ代表

座長・コメンテーター:堀田 力 につぼん子ども・子育て応援団団長

コーディネーター:奥山千鶴子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

☆全体会 もっと、なんとかしたい！につぼんの子ども・子育て

コーディネーター:岩田喜美枝 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

山田 正人 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

☆アピール読み上げ 小室淑恵 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

・緊急フォーラム 今伝えたい！一時預かり事業の現実 未来に向けて緊急政策提言

2019年7月13日(土)18:00~20:30

日本教育会館9階第五会議室

参加者 72名

共催:よこはま一人子育てフォーラム

後援:NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会

基調報告:平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

「一時預かり事業の運営状況などに関する調査報告」

鈴木陽子さん 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 共生社会部 主任研究員

行政説明:一時預かり事業の現状と展望

竹林悟史さん 厚生労働省 前子ども家庭局保育課長

パネルディスカッション:今伝えたい! 一時預かり事業の現実 未来に向けて緊急政策提言!!

パネリスト:友澤ゆみ子さん NPO 法人ピッピ・親子サポートネット理事長

新澤拓治さん 社会福祉法人雲柱社施設長

伊藤千沙子さん NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク代表理事

コメンテーター:竹林悟史さん 厚生労働省 前子ども家庭局保育課長

鈴木陽子さん 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 共生社会部 主任研究員

コーディネーター:奥山千鶴子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

バズセッション&質疑応答

☆当日のまとめおよび参加者アンケートの意見なども参考に提言にまとめ、担当部局である厚生労働省子ども家庭局および内閣府子ども・子育て本部に提出、一時預かり事業のさらなる拡充を求めた。

・2019年度企業・団体サポーター交流会「働き方改革とダイバーシティ・マネジメント」開催

開催日時:2020年2月18日(火)17:00~19:00

開催会場:株式会社オカムラ Open Innovation Biotope"Sea"

(東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターナショナル Air 13階)

1. 「仕事と育児・介護との両立支援策(イクメン、イクボス企業表彰を含む)について」

厚生労働省雇用環境:均等局職業生活両立課長 尾田 進さん

2. 「男性育児休業取得が進む職場づくり」

につぼん子ども・子育て応援団企画委員 小室 淑恵

3. パネルディスカッション

「働き方も社会も変えるダイバーシティ・マネジメント」

パネリスト

株式会社オカムラ WORK MILL エバンジェリスト 遅野井宏さん

につぼん子ども・子育て応援団団長 安藤哲也

につぼん子ども・子育て応援団企画委員 小室淑恵

コーディネーター

につぼん子ども・子育て応援団団長 勝間和代

参加者:36名(企業・団体サポーター8社34名 未登録企業2社2名)

(2)メールマガジンの発行

毎月1回発行

(3)サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

(4)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(5) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

5 政策提言活動

・5月に結成 10 周年記念フォーラムを、7 月に緊急フォーラムを開催し、緊急フォーラムでは一時預かり事業のさらなる拡充に向けて具体的な提言にまとめ、国の担当部局に提言書を手交。

・(再掲)結成 10 周年記念フォーラム「もっと、みんなでなんとかしたい！ にっぽんの子ども・子育て」

2019 年 5 月 19 日(日)13:20~16:40

津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス 3 階 SA305 講義室ほか。

参加者 230 名 保育 10 名

☆基調講演:今再び、子どもとおとなが輝く未来を考える。

☆分科会:もっと、みんなでなんとかする！ にっぽんの子ども・子育て

・第一分科会 多様性の理解と尊重

・第二分科会 働き方

・第三分科会 先進自治体の子育て支援政策

・第四分科会 2 世代先の地域づくりミーティング

☆全体会 もっと、なんとかしたい！ にっぽんの子ども・子育て

☆アピール読み上げ

・(再掲)緊急フォーラム 今伝えたい！ 一時預かり事業の現実 未来に向けて緊急政策提言

2019 年 7 月 13 日(土)18:00~20:30

日本教育会館 9 階第五会議室

参加者 72 名

共催:よこはま一人子育てフォーラム

後援:NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会

基調報告:平成 30 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

「一時預かり事業の運営状況などに関する調査報告」

行政説明:一時預かり事業の現状と展望

パネルディスカッション:今伝えたい！ 一時預かり事業の現実 未来に向けて緊急政策提言！！

バズセッション&質疑応答

・一時預かり事業拡充のための提言

8 月 22 日に厚生労働省審議官、本多則恵氏、子ども家庭局保育課長、矢田貝泰之氏、同局子育て支援課長、田村悟氏に提言を手交。

8 月 23 日に内閣府子ども・子育て本部審議官、藤原朋子氏、参事官、西川隆久氏に提言を手交。

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行った。

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2015 年度~2017 年度の第 1 期を終了、2018 年度~2020 年度の第 2 期を受託。全世代に向けた地域包括ケア=地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及、地域保健福祉

に子ども・子育ての視点を盛り込むよう各方面に働きかける活動を行った。

・2019年度の実施結果

ヒアリング 岐阜県大垣市 富山県南砺市&砺波市・射水市の NPO 岡山県総社市 広島県福山市
人材交流研修会

北海道札幌市 「地域子育て支援拠点発 “地域連携”で親子を支える」

<パネルディスカッション>

パネリスト

田村博美さん 札幌市子ども未来局子育て支援部子育て支援課長

山田智子さん NPO 法人子育て応援かざぐるま代表理事

小林真弓さん NPO 法人ねっこぼっこのいえ代表理事

コーディネーター 河野和枝さん さっぽろ子育てネットワーク代表

コメンテーター 川田 学さん

北海道大学教育学研究院子ども発達臨床研究センター准教授

<分散交流会>

- ① 子育て世代包括支援センター ②利用者支援事業 ③児童相談所・家庭児童相談室
④さっぽ・こども広場 ⑤地域教育相談 ⑥小児科医 ⑦産後ケア事業・拠点での赤ちゃんふれあ
い講座等 ⑧子どものくらし支援コーディネート事業 ⑨こども緊急サポートネットワーク事業
⑩さっぽろ子育てサポートセンター（ファミサポ）・ほっ・とプラザ（家事援助）⑪DV 支援 ⑫
ひとり親支援

協力団体：NPO 法人子育て応援かざぐるま

後援：札幌市 札幌市社会福祉協議会

参加者 59名 保育 4名

山形県山形市 「みんなで考えっぺ 子どもが真ん中のまちづくり」

<話題提供者>

荒木秀一さん 山形市こども未来部こども未来課長

佐藤佳代子さん 山形市社会福祉協議会地域福祉課福祉のまちづくり第二係主任

丹野美津子さん 山形市民生委員児童委員連合会主任児童委員研究部長

佐藤博之さん 山形市子ども会育成連合会長

野口比呂美さん NPO 法人やまがた育児サークルランド代表

ファシリテーター：松田妙子 につぼん子ども・子育て応援団事務局

NPO 法人せたがや子育てネット代表理事

協力団体：NPO 法人やまがた育児サークルランド

後援：山形県、山形市

参加者 24名 保育 0名

茨城県水戸市 「みんなで生きて行く」

<話題提供者>

染野ユミさん 境町社会福祉協議会

藤澤利枝さん 社会福祉法人ユアアイ村 理事長

西川 正さん NPO 法人ハンズオン！埼玉 理事

ファシリテーター：横須賀聡子さん NPO 法人セカンドリーグ茨城理事長

山根真知子さん NPO 法人セカンドリーグ茨城副理事長

協力団体：NPO 法人セカンドリーグ茨城

後援：茨城県 水戸市 茨城県社会福祉協議会 茨城新聞社

協力：茨城県水戸生涯学習センター 生活協同組合パルシステム茨城 栃木

参加者 24名 保育 1名

岐阜県大垣市 「子どもと共に築く地域！ 全世代の移動支援を考える」

<話題提供者>

杉浦陽之助さん NPO 法人コミュニティサポートスクエア理事長
川合 宗次さん 社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協議会理事長
遠山 哲夫さん NPO 法人移動ネットあいち理事長

<ファシリテーター>

神田 浩史さん NPO 法人泉京・垂井副代表理事
安田 典子さん NPO 法人くすくす理事長
協力団体：NPO 法人くすくす
後援：岐阜県 大垣市 岐阜県社会福祉協議会 大垣市社会福祉協議会
参加者 24 名 保育 1 名

福井県敦賀市 「誰もが気軽に立ち寄れる めくもりのある居場所をつくろう」

<話題提供者>

河原廣子さん NPO 法人かもママ理事長
熊谷誓成さん みんなの茶ノ間八三六事務局
中村俊一さん 一般社団法人プレーワーカーズ理事

<ファシリテーター>

林 恵子さん NPO 法人子育てサポートセンターきらきらくらぶ理事長
中村俊一さん 一般社団法人プレーワーカーズ理事
協力団体：NPO 法人子育てサポートセンターきらきらくらぶ
後援：福井県 敦賀市 福井県社会福祉協議会 敦賀市社会福祉協議会 福井新聞社
参加者 40 名 保育 0 名

長崎県佐世保市 「地域でどう支える？ 育児と愛護の同時進行＝ダブルケア」

<話題提供者>

東 恵子さん 一般社団法人ダブルケアサポート代表
岩崎 祐一さん 佐世保市子ども未来部子ども政策課主幹兼課長補佐
富永 健三さん 佐世保市社会福祉協議会地域福祉課
野方由紀子さん ダブルケア当事者
山崎 翠 さん ファミリー・サポート・センター・アドバイザー
田淵真由美さん 佐世保市地域子育て支援拠点よんぶらこ ひろばスタッフ
園田 康訓さん 佐世保市山澄地域包括支援センター長

協力団体：NPO 法人ちいきのなかま

後援：長崎県 佐世保市 佐世保市社会福祉協議会

参加者 35 名 保育 2 名（プラス幼児 2 名と乳児 1 名同室保育）

☆山形交流会は山形新聞および山形放送から取材を受け、9 月 24 日夕方のニュースおよび 9 月 25 日付朝刊に掲載された。

☆札幌交流会は北海道新聞から取材を受け、12 月 25 日付夕刊に掲載された。

・2019 年度地域まるごとケア・プロジェクト報告会
「見えてきた！ 地域ぐるみでみんなまるごとケアのヒント
市民発、ごちゃまぜ、真剣、まるごとケア」

日時：2020 年 2 月 8 日（土）13:10～16:30

場所：日比谷図書文化館

参加者:78名

開会挨拶 公益財団法人さわやか福祉財団理事長 清水肇子

基調講演 「シニア世代男性が子ども・子育て支援と出会うとき」

恵泉女学園大学学長 大日向雅美さん

報告と提言 「市民発 ごちゃまぜ 真剣 まるごとケア」

報告者

○ともに地域で暮らす仲間として何ができるか

地域子育て支援拠点発 “地域連携” で親子を支える “報告

NPO 法人子育て応援かざぐるま代表理事 山田智子さん

○「おとなも子どももOK食堂」の現場から

特定非営利活動法人コミュニティサポートスクエア理事長 杉浦陽之助さん

○誰も排除しない されない 止まり木のようなカフェ

一般社団法人Ponteとやま副代表理事 加藤愛理子さん

コメンテーター

恵泉女学園大学学長 大日向雅美さん

ナビゲーター

にっぽん子ども・子育て応援団地域まるごとケア・プロジェクトメンバー

青木八重子

山田麗子

當間紀子

閉会挨拶 にっぽん子ども・子育て応援団企画委員 前三鷹市長 清原慶子

8 いきがい・助け合いサミット in 大阪

・さわやか福祉財団からの委託事業。54 のテーマによる分科会を通じて、全国から集まった第一線の実践家などによる、共生社会を作る地域包括ケア、生活を支えあう仕組みと実践のシェアと交流。18 分科会「子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか」の企画・運営を受託。

日時:2019年9月10日(火)9:00~11:00

場所:大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪(大阪市北区中ノ島 5-3-5)

最終申込者数:147名→参加者:141名

第2部 18分科会 子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるのか」

話題提供:石蔵文信さん 大阪大学大学院人間科学研究科招へい教授・医師・育じい

岡村紀男さん ほっとスペースじいちゃんち代表

松本茂子さん ボランティアはなぞの代表

宮内敏雄さん・梅澤隆さん NPO 法人あい・ぽーとステーション子育てまちづくり支援プロデューサー

後半はワークショップ

コーディネーター:奥山千鶴子 にっぽん子ども・子育て応援団企画委員

企画・運営:にっぽん子ども・子育て応援団事務局

松田妙子、青木八重子、當間紀子

運営協力:NPO 法人ふらっとスペース金剛 理事長 廣崎祥子さん、事務局長 勝山芳子さん

☆開催報告記事を10月11日付読売新聞朝刊に全面広告の形で掲載。

9 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催した。

にっぽん子ども・子育て応援団 平成31年&令和元年度会計報告(案)

(H31年4月1日～R2年3月31日)

【収入の部】



科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,050,000	970,000	950,000	0	-80,000
2. 賛同金収入	100,000	117,366	117,366	0	17,366
3. 民間助成金収入	0	0	0	0	0
4. 講師派遣収入	300,000	0	0	0	-300,000
5. 寄付金収入	100,000	0	0	0	-100,000
6. 事業受託費	7,373,408	7,373,408	0	7,373,408	0
7. 受託事業進行管理収入	976,800	976,800	0	976,800	0
8. 資料代収入	200,000	290,800	290,800	0	90,800
9. 雑収入	10,000	67,264	67,264	0	57,264
10. 借入金	0	0	0	0	0
当期収入小計(A)	10,110,208	9,795,638	1,425,430	8,350,208	-314,570
前年度繰越金(B)	5,112,196	5,112,196	5,112,196	0	0
収入合計(A)+(B)	15,222,404	14,907,834	6,537,626	8,350,208	-314,570

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	350,000	426,670	426,670	0	-76,670
2. 人件費支出	2,040,000	2,044,390	2,044,390	0	-4,390
3. 謝金	200,000	66,000	66,000	0	134,000
4. 交通費	246,960	207,951	207,951	0	39,009
5. 会議費	20,000	30,383	30,383	0	-10,383
6. 通信運搬費	100,000	140,439	140,439	0	-40,439
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	50,000	23,034	23,034	0	26,966
9. 事務消耗品費	50,000	77,137	77,137	0	-27,137
10. 備品費	0	0	0	0	0
11. 助成金事業費	0	0	0	0	0
12. 受託事業費	8,350,208	5,143,488	0	5,143,488	3,206,720
13. 支払手数料	5,000	6,795	6,795	0	-1,795
14. 雑費	10,000	6,160	6,160	0	3,840
15. 業務委託費	200,000	221,400	221,400	0	-21,400
16. 10周年記念特別費	800,000	553,032	553,032	0	246,968
17. 予備費	10,000	0	0	0	10,000
当期支出小計(C)	12,432,168	8,946,879	3,803,391	5,143,488	3,485,289
当期収支差額(A)-(C)	-2,321,960	848,759	-2,377,961	3,206,720	3,170,719
次期繰越収支差額(D)	2,790,236	5,960,955	2,734,235	3,206,720	2,856,149

【監査報告】

上記会計報告書類に関して、令和2年4月22日に監査を行ったところ、
帳票類もそろっており、相違ないこと承認します。

監事 千葉梢 
監事 高相常子 

につぼん子ども・子育て応援団 2020 年度活動計画

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1 重点活動目標

・基本的には、2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。

さらに、2020 年度の活動テーマを「子どもの健康」とし、全ての活動に反映させて行く。

特に、新型コロナウイルス 感染拡大に伴う緊急非常事態宣言によって、不要不急の外出自粛、在宅勤務の進展と保育所・幼稚園、学校、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、児童館などの休園・休校、登園自粛が 2 カ月以上続くといった未曾有の事態で、子どもとその家族の環境が大きく様変わりしている。困窮する子どもと親を支えつつ、現下の状況乗り越え、未来に向けて、新しい暮らし方を提案していくべく、重点的に情報発信を行う。

「私だけの子育てから、みんなと子育てへ」

「につぼん子ども・子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること

「目標実現のためのにつぼん子ども・子育て応援団のアピール」

1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしきみを

2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,067,774 (2020 年 3 月 31 日現在) (2019 年 3 月 31 日現在 1,065,021)

	2020 年 3 月 31 日現在数値	2020 年度末目標値
個人サポーター宣言	8776 人	10000 人
企業・団体サポーター	48 社	50 社
NPO・市民団体サポーター	264 団体	290 団体
自治体首長サポーター登録	27 人	40 人

3 調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査

全国4カ所でのヒアリングを行い、全国6カ所で地域人材交流研修会を開催し、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表する。新型コロナウイルス 感染拡大状況によっては、年度をまたいでの調査となることも考慮する。

地域まるごとケア・プロジェクトに伴うプロジェクト振り返り調査

2期6年間のプロジェクト最終年度として、これまでにヒアリングおよび地域人材交流研修会を行ってきた自治体および市民活動団体に向けて、これまでの経年変化を調査、内容と報告書にまとめるとともに報告会で発表する。

4 情報提供・交流活動

(1) 勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏3カ所で開催する。→結成11周年記念フォーラム&秋の国会連動フォーラム
うち1回は企業・団体サポーター向け講座(企業・団体サポーター交流会)とする。

(2) 情報発信「にっぽん子ども・子育て応援団企画委員からのエール」

親と子を支え、応援、「新型コロナ後」の暮らしに向けた情報発信を6月から行う。

(3) メールマガジンの発行

毎月1回発行

(4) サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

(5) 「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(6) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

5 政策提言活動

・年に2回(秋ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2015年度～2017年度の第1期を終了、2018年度～2020年度の第2期を受託。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及、地域保健福祉に子ども・子育ての視点を盛り込むよう各方面に働きかける活動を行う。

・2020年度の実施予定

ヒアリング 北海道浦河町 青森県八戸市 鳥取県米子市 宮崎県日南市

人材交流研修会 青森県青森市 栃木県日光市 静岡県浜松市(11月ごろ開催で検討中)

長野県飯田市 山口県山口市(11月28日)

徳島県徳島市

・2020年度地域まるごとケア・プロジェクト報告会

日時:2021年2月ごろ 開催(状況によっては2022年2月開催となることもある)

基調講演ではなく、樋口恵子団長と堀田力団長の対談。

8 いきがい・助け合いサミット in 神奈川

・さわやか福祉財団からの委託事業。異なるテーマによる分科会を通じて、全国から集まった第一線の実践家などによる、共生社会を作る地域包括ケア、生活を支えあう仕組みと実践のシェアと交流。分科会「子どもと高齢者の交流会や助け合いをどう広げるか」の企画・運営を受託。(新型コロナウイルス 感染拡大により、2021年度開催にスライド)

日時:2021年9月2日(木)9:00~11:00

場所:パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい 1-1-1)

話題提供:近藤博子さん きまぐれ八百屋だんだん店主 一般社団法人ともしび at だんだん代表理事

中村俊一さん 一般社団法人プレーワーカーズ理事

河原廣子さん NPO 法人かもまま理事長

コーディネーター:奥山千鶴子 につぼん子ども・子育て応援団企画委員

運営スタッフ:松田妙子、青木八重子、當間紀子 につぼん子ども・子育て応援団

9 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催する。

【収入の部】

単位(円)

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳	
1. 会費収入	1,050,000	150,000		(団長&企画委員) @10,000円×15人	150,000
				(自治体首長新規&継続) @10000円×15人	150,000
				(企業・団体新規) @50,000円×3社	150,000
				(企業・団体継続) @50,000円×8社	400,000
				(企業・団体継続) @30,000円×0社)	0
				(企業・団体継続) @20,000円×10社	200,000
2. 賛同金収入	100,000	100,000	0	(個人) @1,000円×100人	100,000
3. 民間助成金収入	0	0	0		0
4. 講師派遣事業収入	300,000	300,000	0	目標額	
5. 寄付金収入	100,000	100,000	0		
6. 事業受託費	14,351,786	0	14,351,786	さわやか福祉財団受託事業見積(人件費含む 地域まるごと)	
7. 受託事業進行管理収入	988,179	0	988,179	さわやか福祉財団受託事業見積	
8. 資料代収入	200,000	200,000	0	フォーラム	
9. 雑収入	10,000	10,000	0		
当期収入小計(A)	17,099,965	1,760,000	15,339,965		
前年度繰越金(B)	5,960,955	5,960,955	0		
収入合計(A)+(B)	23,060,920	7,720,955	15,339,965		

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳
1. 借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃(@20,000円×12ヶ月+年間登録料)+会議室使用料ほか
2. 人件費支出	2,040,000	2,040,000	0	事務局・アルバイト人件費 @ (150,000円+10000円×2)×12ヶ月
3. 謝金	100,000	100,000	0	講師謝金
4. 交通費	246,960	246,960	0	事務局交通費 (14580+6000)×12ヶ月
5. 会費	10,000	10,000	0	茶菓・弁当
6. 通信運搬費	100,000	100,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費
7. 制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費
8. 印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー・リソグラフ・印刷費(パンフレット・封筒)
9. 事務消耗品費	50,000	50,000	0	用紙、プリンタインク・文具等
10. 備品費	0	0	0	
11. 助成事業費	0	0	0	
12. 受託事業費	15,339,965	0	15,339,965	さわやか福祉財団受託事業(人件費含む 地域まるごと)
13. 支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料
14. 雑費	10,000	10,000	0	
15. 業務委託費	200,000	200,000	0	HP管理関連 @20,000円×12ヶ月+サーバーレンタル料
16. 予備費	10,000	10,000	0	
当期支出小計(C)	18,511,925	3,161,960	15,339,965	
収支差額(A)-(C)	(1,411,960)	(1,401,960)	0	
次期繰越収支差額(D)	4,548,995	4,558,995	0	

★受託事業費に関しては、確定していないため、見積もり暫定金額を用いている。

にっぽん子ども・子育て応援団の運営体制について

1. 団長について

団長は、樋口恵子団長、堀田力団長、安藤哲也団長、勝間和代団長の4名体制とする。

2 企画委員について

渥美雅子：弁護士

◎安藤哲也：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

奥山千鶴子：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

◎勝間和代：経済評論家

清原慶子：前三鷹市長

倉田 薫：前池田市長

神津里季生：日本労働組合総連合会会長

小室淑恵：株式会社ワークライフ・バランス取締役社長

榊原洋一：お茶の水女子大学名誉教授 小児科医

林 文子：横浜市長

◎樋口恵子：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授

◎堀田 力：公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士

棕野美智子：松山大学特任教授

村木厚子：津田塾大学総合政策学部客員教授

山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者

吉田恒雄：認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長

◎は応援団長（共同代表）

3. 運営委員について

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長)

* 千葉 梢(日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局)

高祖常子(認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

有馬正史(認定NPO法人さわやか青少年センター理事長)

* 昼間洋子(NPO法人高齢社会をよくする女性の会)

高橋伸夫(NPO法人ファザーリング・ジャパン)

山田麗子(「遊育」編集長)

* は監事

4. 事務局体制について

當間紀子:主に企画・広報と渉外および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

青木八重子:主に会計業務および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

小原聖子:主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当

松田妙子:主に勉強会ファシリテーター、イベントの構成を担当

5. 運営体制について

○「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。

○役員総会は、原則年1回開催し、応援団の活動の基本的事項(規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員の選任等)について審議する。

○団長・企画会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。

○運営委員会は、毎月1回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。

*運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。

*応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。

○年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長・企画会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。